

令和 8 年 9 月 9 日
国土交通省国土地理院

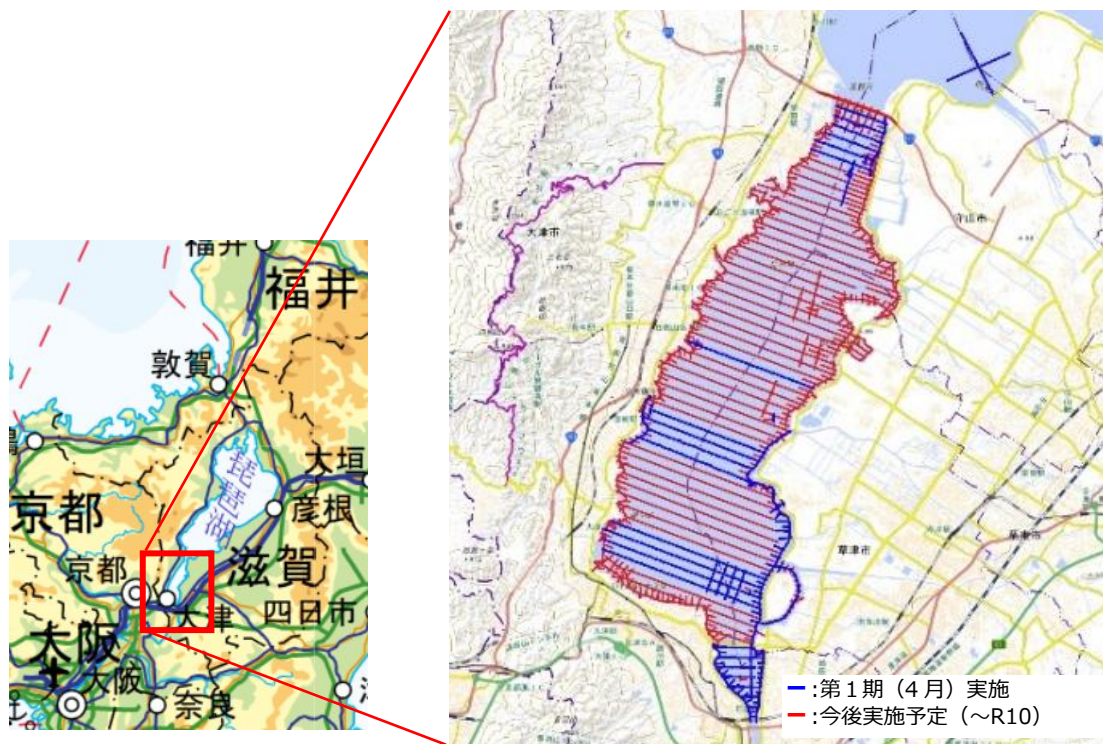
国土地理院による琵琶湖の測量について ～57年ぶりに最新の湖底地形データ取得に着手～

国土地理院は、国土の実態の把握や管理に資するために、測量法に基づく基本測量として、全国の面積1 km²以上の主な湖沼を対象に湖沼調査を行い、「湖沼図」の整備・提供を行っています。湖沼図は、精密な湖底地形や水深などを示す基礎的な地理空間情報であり、環境保全、漁業、防災、学術研究など様々な分野で活用されています。

湖沼調査は、昭和30年（1955年）の琵琶湖を皮切りに、これまで全国80湖沼について実施しています。平成24年度からは高精度かつ高密度な湖底地形データの取得が可能なマルチビーム音響測深機を導入し、湖沼図の更新を進めています。琵琶湖については昭和30年の初回の測量後、昭和43～44年に一度更新を行っていますが、それから57年が経過したため、このたび、特に経年変化が大きいと思われる南湖（琵琶湖大橋の南側約55 km²）を対象に、最新の湖底地形データを取得するために再測量を実施することとしました。

南湖の測量は令和8年度から3か年計画で実施する予定です。既に第1期の測量を本年4月13日～5月1日に実施し、現在データ解析を進めています。また、第2期の測量を11月に予定しています。その後も順次測量を行い、南湖全域の測量が完了し湖沼図を更新次第、データを公開する予定です。データは国土地理院のウェブ地図「地理院地図」で閲覧できるほか、国土地理院のウェブサイトからダウンロードできます。

測量の実施に当たりましては、関係機関の皆様引き続き御協力をお願いするとともに、成果を広く共有し、琵琶湖の保全と利活用に貢献してまいります。



琵琶湖（南湖）の測量範囲及び進捗状況

■ 地理院地図でみる琵琶湖の湖沼図

- 湖沼図は、湖底地形、底質（湖底表面の堆積物）、水生植物の分布、湖岸や湖面に設けられた湖沼利用に関連する各種施設などを表現した縮尺 1/10,000 の地図です。
- 湖沼図は地理院地図から閲覧可能です。地理院地図の機能を使って湖沼図と最新の電子国土基本図を並べてみると、湖の様子が詳細に表現されていることが分かります。



湖沼図「湖南水域 2」（S30 年測量、S43 年改測）の一部と空中写真（S36 年～S44 年撮影）を重ねた図

最新の電子国土基本図と空中写真（H20 年、H25 年撮影）を重ねた図



現地にて音響測深機の組立



船内の様子



測量風景



水中音速度の計測



上の図はこちらからご覧いただけます



湖沼調査

<https://www.gsi.go.jp/kankyochiri/gsilake.html>



地理院地図

<https://maps.gsi.go.jp/>

琵琶湖の第 1 期（4 月）測量実施状況